

# 《概要版》統一的な基準による青森市の財務書類【令和6年度決算】

## (一般会計等、全体会計、連結会計)

平成28年度決算から総務省の「統一的な基準」に基づき財務書類の作成を行っており、この度、令和6年度決算における一般会計、特別会計及び公営企業会計を合算した全体会計、並びに一部事務組合や広域連合、市の第三セクター等を連結させた連結会計の財務状況を示す「財務書類」を作成しましたので、その概要をお知らせします。

※注：本資料では、各項目で表示単位未満の数値を四捨五入しているため、説明文中において数値が一致しない場合や、表中で合計が一致しない場合があります。

### 1. 貸借対照表

「貸借対照表」では、行政サービスを提供するための資産をどれだけ保有しているか、また、その見返りとして将来世代の負担となる地方債等の債務がどのくらいあるかを知ることができます。資産の部、負債の部及び純資産の部で構成され、資産の部には、これまでの行政活動によって形成された道路、建物、土地などの資産等が、負債の部には、将来の負担が、純資産の部には、既に負担してきたものが計上されています。

令和6年度末時点における資産合計は、一般会計等で2,995億99百万円、全体会計で4,918億32百万円、連結会計で5,111億42百万円となっております。本市としては、一般会計等の規模が大半を占めておりますが、事業用資産において、青森市清掃工場火災対策整備工事、アウガ照明設備更新、滝内福祉館の完成に伴う建物の増、インフラ資産においては道路橋梁の新築等に伴う工作物の増があったものの、事業用建物において筒井小学校旧校舎の解体、有形固定資産全体において減価償却による資産減耗があり、固定資産全体として減となっております。また、負債合計では、一般会計等で1,288億67百万円、全体会計で2,683億65百万円、連結会計で2,716億55百万円となっております。資産と負債の差額である純資産は、一般会計等で1,707億31百万円、全体会計で2,234億67百万円、連結会計で2,394億86百万円となっております。

令和7年3月31日現在 (単位：百万円)

	令和6年度決算①			令和5年度決算②			比較①-②		
	一般会計等	全体会計	連結会計	一般会計等	全体会計	連結会計	一般会計等	全体会計	連結会計
<b>資産の部</b>	<b>299,599</b>	<b>491,832</b>	<b>511,142</b>	<b>309,602</b>	<b>505,772</b>	<b>524,739</b>	<b>▲10,003</b>	<b>▲13,940</b>	<b>▲13,597</b>
固定資産	290,834	471,933	487,589	296,957	482,528	498,614	▲6,123	▲10,595	▲11,025
有形固定資産	273,174	448,165	460,025	279,515	459,366	471,711	▲6,341	▲11,201	▲11,686
無形固定資産	145	662	850	223	734	934	▲78	▲72	▲84
投資その他の資産	17,514	23,107	26,714	17,219	22,428	25,969	295	679	745
流動資産	8,765	19,899	23,552	12,645	23,244	26,124	▲3,880	▲3,345	▲2,572
現金預金	4,208	10,934	14,220	6,732	12,817	15,389	▲2,524	▲1,883	▲1,169
未収金	389	3,442	3,559	355	3,416	3,492	34	26	67
短期貸付金	188	188	188	179	179	179	9	9	9
基金	3,929	5,194	5,412	5,351	6,698	6,899	▲1,422	▲1,504	▲1,487
棚卸資産	32	174	200	33	177	201	▲1	▲3	▲1
その他	41	47	55	9	42	49	32	5	6
徴収不能引当金	▲22	▲81	▲81	▲13	▲84	▲84	▲9	3	3
<b>資産合計</b>	<b>299,599</b>	<b>491,832</b>	<b>511,142</b>	<b>309,602</b>	<b>505,772</b>	<b>524,739</b>	<b>▲10,003</b>	<b>▲13,940</b>	<b>▲13,597</b>
<b>負債の部</b>	<b>128,867</b>	<b>268,365</b>	<b>271,655</b>	<b>136,042</b>	<b>279,812</b>	<b>283,522</b>	<b>▲7,175</b>	<b>▲11,447</b>	<b>▲11,867</b>
固定負債	115,586	239,257	241,434	122,624	251,422	253,905	▲7,038	▲12,165	▲12,471
地方債等	100,788	173,291	175,253	107,994	184,209	186,533	▲7,206	▲10,918	▲11,280
長期未払金	-	-	59	-	-	59	-	-	0
退職手当引当金	14,506	20,596	20,697	14,316	20,456	20,553	190	140	144
損失補償等引当金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	292	45,370	45,425	313	46,757	46,761	▲21	▲1,387	▲1,336
流動負債	13,281	29,107	30,222	13,418	28,390	29,616	▲137	717	606
1年以内償還予定地方債等	11,598	23,796	23,928	11,878	23,678	23,905	▲280	118	23
未払金	15	2,614	2,887	12	2,245	2,510	3	369	377
未払費用	64	65	83	56	57	75	8	8	8
前受金	-	-	9	-	-	12	-	-	▲3
前受収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-
賞与等引当金	1,273	1,906	2,217	1,175	1,768	2,059	98	138	158
預り金	299	443	526	292	433	530	7	10	▲4
その他	33	284	572	6	210	526	27	74	46
<b>純資産の部</b>	<b>170,731</b>	<b>223,467</b>	<b>239,486</b>	<b>173,560</b>	<b>225,960</b>	<b>241,217</b>	<b>▲2,829</b>	<b>▲2,493</b>	<b>▲1,731</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>299,599</b>	<b>491,832</b>	<b>511,142</b>	<b>309,602</b>	<b>505,772</b>	<b>524,739</b>	<b>▲10,003</b>	<b>▲13,940</b>	<b>▲13,597</b>

### 財務書類から分かる各種指標（財政分析）【一般会計等ベース】

#### ①市民一人当たりの資産・負債等

市民一人当たりにおける資産・負債額などの指標を表しており、財政の健全化等を比較することができます。また、一人当たりの行政コストを算出することにより、教育や福祉等の経常的な行政サービスの効率性を比較することができます。

【R6年度決算における指標数値】

区分	青森市	八戸市 [R5決算]	弘前市 [R5決算]	中核市平均 [R5決算]
一人当たりの資産額	114.7万円	116.6万円	150.9万円	151.4万円
一人当たりの負債額	49.3万円	59.6万円	53.1万円	43.8万円
一人当たりの市債残高	43.0万円	54.8万円	47.8万円	37.4万円
一人当たりの純行政コスト	47.9万円	43.8万円	48.5万円	39.0万円

#### ②受益者負担比率

経常収益の経常費用に対する割合を算定することにより、行政サービスに対する受益者負担の割合が表すことができます。経年や類似団体と比較することで、受益者負担の水準や特徴を把握することができます。

【算定式】 PL経常収益÷PL経常費用

【R6年度決算における指標数値】

青森市	八戸市 [R5決算]	弘前市 [R5決算]	中核市平均 [R5決算]
2.9%	2.4%	3.8%	4.4%

#### ③有形固定資産減価償却率（資産老朽化比率）

有形固定資産の耐用年数に対して、取得からの年数の経過を表しており、この比率が高いほど年数の経過が進んでいるといえます。

【算定式】

BS減価償却累計額÷((BS有形固定資産合計-BS非償却資産)+BS減価償却累計額)

【R6年度決算における指標数値】

青森市	八戸市 [R5決算]	弘前市 [R5決算]	中核市平均 [R5決算]
63.8%	68.6%	62.0%	66.0%

#### 【参考】行政目的別資産老朽化比率（一般会計等）

行政目的	R6	R5
生活インフラ・国土保全	66.2%	65.1%
教育	61.3%	59.6%
福祉	53.6%	53.6%
環境衛生	58.9%	58.2%
産業振興	55.6%	54.1%
消防	82.8%	87.8%
総務	51.3%	50.1%

#### ④純資産比率

貸借対照表のうち、純資産(返済する必要がない財源)はこれまでの世代が負担してきた資産を表しています。「純資産比率」は、世代間の公平性を図る指標の一つであり、この数値が高いほど、将来の負担が小さいことを表しております。

【算定式】 BS純資産の部÷BS資産の部

【R6年度決算における指標数値】

青森市	八戸市 [R5決算]	弘前市 [R5決算]	中核市平均 [R5決算]
57.0%	48.9%	64.8%	71.1%

## 2. 行政コスト計算書

「行政コスト計算書」とは、本市が1年間に提供した福祉や教育、ごみ処理、産業振興等といった様々な行政サービスに要した費用(経常費用と臨時損失)から、使用料・手数料等収入(経常収益と臨時利益)を差し引いた『純行政コスト』を算出しています。

令和6年度決算では、この純行政コストは一般会計等で1,251億18百万円、全体会計で1,760億65百万円、連結会計で2,068億20百万円となりました。

令和6年4月1日～令和7年3月31日 (単位：百万円)

	令和6年度決算①			令和5年度決算②			比較①-②		
	一般会計等	全体会計	連結会計	一般会計等	全体会計	連結会計	一般会計等	全体会計	連結会計
<b>経常費用</b>	<b>128,589</b>	<b>232,597</b>	<b>266,076</b>	<b>124,907</b>	<b>228,353</b>	<b>262,070</b>	<b>3,682</b>	<b>4,244</b>	<b>4,006</b>
業務費用	53,515	112,554	120,564	47,719	106,748	114,660	5,796	5,806	5,904
人件費	15,342	25,580	30,473	14,318	23,889	28,592	1,024	1,691	1,881
物件費等	36,525	60,870	63,637	31,606	56,279	58,661	4,919	4,591	4,976
その他の業務費用	1,648	26,104	26,454	1,794	26,579	27,407	▲146	▲475	▲953
移転費用	75,075	120,043	145,512	77,188	121,605	147,410	▲2,113	▲1,562	▲1,898
<b>経常収益</b>	<b>3,711</b>	<b>56,753</b>	<b>59,457</b>	<b>3,369</b>	<b>56,428</b>	<b>58,487</b>	<b>342</b>	<b>325</b>	<b>970</b>
使用料及び手数料	1,422	21,300	21,487	1,518	20,895	20,946	▲96	405	541
その他	2,289	35,453	37,970	1,851	35,533	37,541	438	▲80	429
<b>純経常行政コスト</b>	<b>124,878</b>	<b>175,844</b>	<b>206,619</b>	<b>121,538</b>	<b>171,924</b>	<b>203,583</b>	<b>3,340</b>	<b>3,920</b>	<b>3,036</b>
臨時損失	293	693	705	569	846	847	▲276	▲153	▲142
臨時利益	53	472	505	34	136	1,369	19	336	▲864
<b>純行政コスト</b>	<b>125,118</b>	<b>176,065</b>	<b>206,820</b>	<b>122,073</b>	<b>172,634</b>	<b>203,061</b>	<b>3,045</b>	<b>3,431</b>	<b>3,759</b>

## 3. 純資産変動計算書

「純資産変動計算書」とは、貸借対照表に計上されている純資産が、1年間でどのように増減したかを表しており、本市の資産状況を知ることができます。

令和6年度決算において、純資産残高としては、一般会計等では、前年度末から28億29百万円減の1,707億31百万円、全体会計では前年度末から24億93百万円減の2,234億67百万円、連結会計では前年度末から17億31百万円減の2,394億86百万円となっております。

## 4. 資金収支計算書

「資金収支計算書」は、1年間の現金の流れ(増減)を示すものであり、その収支を性質に応じて、業務活動収支、投資活動収支、財務活動収支と区分して表示することで、どのような活動に資金が必要とされているかを明らかにするものです。

令和6年度の資金収支額は、一般会計等で34億45百万円の減、全体会計では16億38百万円の減となり、本年度末の資金残高は、一般会計等で39億9百万円、全体会計で106億35百万円となりました。

※連結会計における資金収支計算書については、連結対象団体において「公益法人会計基準の運用指針」により、資金収支計算書にあたるキャッシュフロー計算書を作成していない団体もあることから、統一的な基準による地方公会計マニュアルに基づき作成を省略しています。

令和6年4月1日～令和7年3月31日 (単位：百万円)

	令和6年度決算①		令和5年度決算②		比較①-②	
	一般会計等	全体会計	一般会計等	全体会計	一般会計等	全体会計
<b>業務活動収支</b>	<b>6,835</b>	<b>14,217</b>	<b>9,043</b>	<b>16,582</b>	<b>▲2,208</b>	<b>▲2,365</b>
業務支出	116,872	213,810	112,850	210,153	4,022	3,657
業務収入	123,708	228,028	122,008	226,851	1,700	1,177
臨時支出	-	-	116	116	▲116	▲116
臨時収入	-	-	-	-	-	-
<b>投資活動収支</b>	<b>▲1,821</b>	<b>▲5,247</b>	<b>▲4,466</b>	<b>▲9,116</b>	<b>2,645</b>	<b>3,869</b>
投資活動支出	9,843	14,852	14,118	19,520	▲4,275	▲4,668
投資活動収入	8,022	9,605	9,652	10,403	▲1,630	▲798
<b>基礎的財政収支(利払後)</b>	<b>5,014</b>	<b>9,970</b>	<b>4,577</b>	<b>7,466</b>	<b>437</b>	<b>1,504</b>
<b>財務活動収支</b>	<b>▲7,546</b>	<b>▲10,859</b>	<b>▲3,663</b>	<b>▲7,717</b>	<b>▲3,883</b>	<b>▲3,142</b>
財務活動支出	15,139	24,105	12,786	22,161	2,353	1,944
財務活動収入	7,593	13,246	9,124	14,444	▲1,531	▲1,198
<b>本年度資金収支</b>	<b>▲2,531</b>	<b>▲1,889</b>	<b>914</b>	<b>▲251</b>	<b>▲3,445</b>	<b>▲1,638</b>
<b>前年度末資金残高</b>	<b>6,440</b>	<b>12,524</b>	<b>5,526</b>	<b>12,776</b>	<b>914</b>	<b>▲252</b>
<b>本年度末資金残高</b>	<b>3,909</b>	<b>10,635</b>	<b>6,440</b>	<b>12,524</b>	<b>▲2,531</b>	<b>▲1,889</b>
前年度末歳計外現金残高	292	292	351	351	▲59	▲59
本年度歳計外現金増減額	7	7	▲59	▲59	66	66
本年度末歳計外現金残高	299	299	292	292	7	7
<b>本年度末現金預金残高</b>	<b>4,208</b>	<b>10,934</b>	<b>6,732</b>	<b>12,817</b>	<b>▲2,524</b>	<b>▲1,883</b>